

京都・福知山

Uターン

アーティスト

ふくふく暮らしな人々

VOL
21

平成30年(2018年)
7月発行

高橋 克さん (Takahashi Katsu)

54歳 / 福知山市堀在住 / 福知山市出身

1963年8月17日生まれ。福知山で生まれ18歳まで福知山で過ごす。いとこの弾いていたギターに興味を持ったことがきっかけで、子どもの頃から音楽に親しむようになる。高校卒業後、京都市内のライブハウスで1年程アルバイトをした後、プロのミュージシャンをめざし東京へ。鳥山雄司さんのアシスタントになり、23歳で田原俊彦さんのバックバンドで紅白歌合戦にも出場。東京で着実にキャリアアップしていたが、2009年に福知山へUターン。Uターン後も、スタジオミュージシャン兼音楽プロデューサーとして活躍中。

「ふくふく暮らしな人々」は、福知山へ移住された方の福知山での暮らし（ふくふく暮らし）を紹介しています。

① 移住(Uターン)した理由

2008年9月に病気で倒れた母が退院することになった時、退院後も傍で支えたいと考えUターンを決断しました。当時、東京での音楽の仕事は順調で、幼い頃からの「夢」を実現している最中でしたし、最先端の仕事をするには、やはり東京がベストな場所だと考えていたため様々な葛藤がありました。ただ、「家族を近くで支えられるのは自分しかない」との一心で、Uターンを決断しました。



② 福知山に移住(Uターン)して感じたこと

現在も、ネットや音楽ソフトを利用して東京など都市部での仕事を受けることができています。ギタリストとしての実力と、決して諦めないという気持ちで、音楽に関わる仕事を続けられています。東京で音楽制作をする際には、壁1枚をはさんだマンションでご近所に気を使うことが多かったのですが、福知山では、家と家との距離が離れていてそれほどでもなくなりました。夜になると鹿が家の前を歩いていることもあります。そんな静かで自然を近くに感じる環境で、かえって集中でき、意外にも仕事しやすいと気づきました。



③ 夢

生活の拠点は福知山に置きながら、音楽の中心である東京の仕事は今以上に増やしていきたいと思っています。自然豊かで人との距離も近い故郷・福知山。ここで家族と過ごしつつ、「夢」も全力で叶えていきたいです。

④ 福知山の魅力・おすすめスポット

福知山は都会過ぎず、田舎過ぎず、住みやすいまちです。山や海が近くにあり自然を楽しめる一方で、生活するには困らない便利さもあります。また、京阪神へのアクセスも良い。だから、福知山に住みながら大阪でライブも行っています。福知山でお気に入りの場所は、三段池公園にある「あずまや」。景色もよく心落ち着く場所なので、ここで作曲することもあります。

⑤ 移住を考えている人に一言

京阪神へのアクセスもよく、都会と田舎の両方が味わえるのが福知山です。ほどよい田舎暮らしがしてみたいと思うならオススメです！